

ndjc CINEMA FESTIVAL @ YEBISU GARDEN CINEMA ~ Young Film director Special Selection ~

「ndjc：若手映画作家育成プロジェクト」は、文化庁の日本映画振興事業の一環として2006年度からスタートした人材育成事業です。ワークショップや短編映画製作の現地研修等とおして、次代を担う若手映画作家を発掘・育成してきました。17年間で81名の作家が短編映画を完成させ、約4割が商業長編映画監督としてデビューしています。今回の特集上映では、若手映画監督を応援するYEBISU GARDEN CINEMAがセレクトしたndjc作品を一挙上映。3つのプログラムをおおくりします。

Program A 商業長編映画監督としてデビューし、高い評価を得ている2名の監督作品

Program B YEBISU GARDEN CINEMA Special Selection として、厳選された6名の監督作品

Program C ndjcに最近参加したばかりの、フレッシュな8名の監督作品

すべて、これからの日本映画を支える監督たちの渾身のオリジナル作品です。なかには現在大ブレイクしている俳優の初期主演作も。この機会にぜひご覧ください。

WEEK 01

5.26 FRI → 6.1 THU

	A 14:30~	B 17:40~	C 19:45~
5月26日[金]	『エゴイスト』+『おとこのこ』	Special Selection Part 1	ndjc2021作品
5月27日[土]	『エゴイスト』+『おとこのこ』 監督舞台挨拶	休映	ndjc2021作品
5月28日[日]	『エゴイスト』+『おとこのこ』	Special Selection Part 1	ndjc2021作品
5月29日[月]	『エゴイスト』+『おとこのこ』	Special Selection Part 1	ndjc2021作品
5月30日[火]	『エゴイスト』+『おとこのこ』	Special Selection Part 1	ndjc2021作品
5月31日[水]	『エゴイスト』+『おとこのこ』	Special Selection Part 1	ndjc2021作品
6月1日[木]	『エゴイスト』+『おとこのこ』	Special Selection Part 1	ndjc2021作品

WEEK 02

6.2 FRI → 6.8 THU

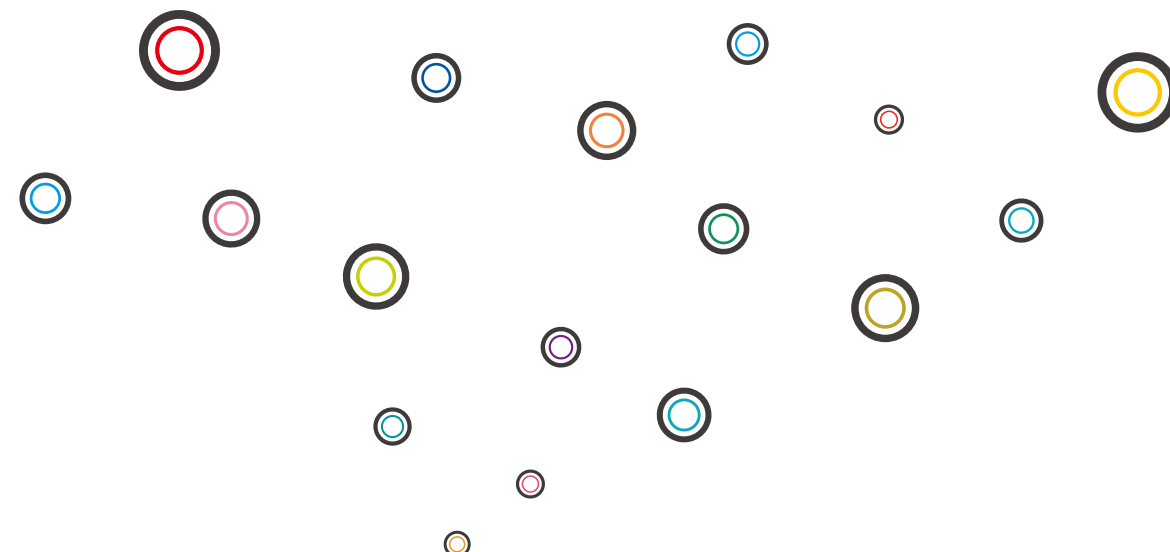
	A 14:30~	B 17:00~	C 19:10~
6月2日[金]	『梅切らぬバカ』+『第三の肌』	Special Selection Part 2	ndjc2022作品
6月3日[土]	『梅切らぬバカ』+『第三の肌』 監督舞台挨拶	休映	ndjc2022作品
6月4日[日]	『梅切らぬバカ』+『第三の肌』	Special Selection Part 2	ndjc2022作品
6月5日[月]	『梅切らぬバカ』+『第三の肌』	Special Selection Part 2	ndjc2022作品
6月6日[火]	『梅切らぬバカ』+『第三の肌』	Special Selection Part 2	ndjc2022作品
6月7日[水]	『梅切らぬバカ』+『第三の肌』	Special Selection Part 2	ndjc2022作品
6月8日[木]	『梅切らぬバカ』+『第三の肌』	Special Selection Part 2	ndjc2022作品



東京都渋谷区恵比寿4-20-2 恵比寿ガーデンプレイス内
0570 (783) 715
www.unitedcinemas.jp/yebisu/



通常料金：大人 ¥1,900 大学生 ¥1,500 高校生・中学生・小学生・幼児(3歳~6歳) ¥1,000 シニア(60歳以上) ¥1,200 ※各種割引あり



ndjc
NEW DIRECTIONS IN JAPANESE CINEMA

CINEMA FESTIVAL

@ YEBISU GARDEN CINEMA

Young Film director Special Selection

これからの日本映画を支える監督たちの映画祭

5.26 FRI → 6.8 THU



『エゴイスト』



14歳で母を失い、田舎町でありのままの自分を隠して鬱屈とした思春期を過ごした浩輔。今は東京の出版社でファッション誌の編集者として働き、自由な日々を送っている。そんな彼が出会ったのは、シングルマザーである母を支えながら暮らす、パーソナルトレーナーの龍太。惹かれ合った2人は、時に龍太の母も交えながら満ち足りた時間を重ねていく。亡き母への想いを抱えた浩輔にとって、母に寄り添う龍太をサポートし、愛し合う時間は幸せなものだった。しかし2人でドライブに出かける約束をしていたある日、何故か龍太は姿を現さなかった。

CAST
鈴木亮平 宮沢氷魚 阿川佐和子
脚本：松永大司 狗飼隼子 音楽：世武裕子

<2023年/120分/R15+/日本/配給：東京テアトル>

Program B
Special Selection
Part 1

※5月27日(土) 休映

WEEK 01

5.26 FRI
→ 6.1 THU



『エンドローラーズ』

葬儀屋の中が喪主・昇から言われたのは「弟(故人)の仕事は工業用ロボットの金具製作。弟の孫に、爺さんがどんな仕事をしてたかわかせてやりたい。だから、ロボット使った映像を作れ」という難題。昇は更に「それに派手な音楽付けて式で流そう」「式にロボット呼べ」と無茶な要求を連発。お葬式はどのような？

CAST
三浦貴大 でんでん 久野雅弘
梅舟惟永 勝倉けい子

<2015年/30分/G/日本/配給：VIPO>



監督・脚本
吉野耕平
YOSHINO Kohei



『少年と戦車』

窮屈な日常やイジメに悩む中学生の田崎は時々言葉交わす少女、咲良に思いを馳せることが唯一の楽しみだった。湖に戦車が沈んでいるという情報を知った田崎は捜索へ出るが、そんな彼を待ち受けていたのは自分自身の思春期と向き合う壮大な精神の旅だった。

CAST
鈴木福 黒崎レイナ 笠井悠聖
林裕太 松浦祐也

<2022年/30分/G/日本/配給：VIPO>



監督・脚本
竹中真人
TAKENAKA Sadato



『遠くへいきたいわ』

アルバイト先へ面接にやってきた竹内(39)を見て動揺を隠せない紗良(21)。竹内の勤務初日、開店作業を終えたふたりはオープンを待つばかりのはずだったが…。互いに亡くしてしまった母娘の面影を見出し合うふたりは、束の間の逃避行に何を求めるのか。

CAST
野内まると 河井青葉 フジエタクマ
津田寛治 金澤卓哉

<2022年/30分/G/日本/配給：VIPO>



監督・脚本
団塚唯我
DANZUKA Yuiga



『梅切らぬバカ』



『ラララ・ランドリー』

ミュージシャンとしてメジャーデビューが決まった優子は、歌うことに自信を無くし、田舎に帰って来る。家族の応援、とりわけ弟が幼い頃に優子が歌って聞かせた歌を大切にしていたことを知り、優子は自分が歌うことの原点を発見する。

CAST
田中美里 松下洸平 内田和也
阿部久美子 駒木根隆介

<2013年/30分/G/日本/配給：VIPO>



監督・脚本
鈴木研一郎
SUZUKI Kenichirou



『うつぶせのまま踊りたい』

社会に適応しながらも自由を求める山田芽衣子と、自らの過去に囚われながらも自由奔放に生きようとする環七子。定型と自由律、それぞれの方法でこじやないどこかを目指す二人の「おとこのこ」が、詩という共通言語を介して変わってゆく。

CAST
福永朱梨 日下七海

<2023年/30分/G/日本/配給：VIPO>



監督・脚本
岡本昌也
OKAMOTO Masaya



『第三の肌』

山田珠子は、息子・忠男と二人暮らし。毎朝決まった時間に起床して、朝食をとり、決まった時間に家を出る。庭にある梅の木は枝は伸び放題で、隣の里村家からは苦情が届いていた。ある日、グループホームの入居案内を受けた珠子は、悩んだ末に忠男の入居を決める。初めて離れて暮らすことになった忠男は環境の変化に戸惑い、ある晩ホームを抜け出してしまふ。そして、珠子は邪魔になる梅の木を切ることを決意するが…。

CAST
加賀まりこ 塚地武雅
渡辺いっけい 森口瑠子 斎藤汰鷹

<2021年/77分/G/日本/配給：ハピネットファントム・スタジオ>

文化庁委託事業「ndjc:若手映画作家育成プロジェクト2020」長編映画の実地研修完成作品



『カレーライス Curry and Rice』

二十歳の大学生、茂。彼のもとにフランスから二十歳の留学生、ジャンヌがやってくる。どうやらお腹が空いているらしいジャンヌを、満はアルバイト先の先輩で同郷の茂が住む古民家に案内する。茂は自慢のカレーライスでジャンヌをもてなそうと考えたが…

CAST
井之脇海 安藤二コ 松浦祐也
矢柴俊博 岩谷健司

<2018年/30分/G/日本/配給：VIPO>



監督・脚本
奥野俊作
OKUNO Shunsaku



『ラ・マヒ』

人に嫌われることを恐れ無難に生きてきた荻野愛は、同級生の堂島月子と再会する。愛とは正反対に「自分らしい生き方」を追い求めてきた月子は、現在プロレスラーになっていた。月子の試合に衝撃を受けた愛はプロレス団体ムーンライトに入門し、プロデビューを目指す。

CAST
まりあ 夏すみれ ライディーン銅
夏目朱里 中野深咲

<2023年/25分/G/日本/配給：VIPO>



監督・脚本
成瀬都香
NARUSE Miyaka



『第三の肌』

「贈物をすると触れることであり、官能であるのだ。あなたはわたしが触れたものに触れるだろう。第三の肌がわたしたち二人を結びつけるのである」「恋愛のディスクール・断章」ロラン・バルト、三好郁朗訳。みず書房刊。ある夜の悲惨な襲撃でピアノを燃やされたホームレス・ピアニストに、千香は新たなピアノを贈る。

CAST
リリイ 唐橋亮 川村悠椰 上村祐翔
海鋒拓也

<2009年/30分/G/日本/配給：VIPO>



『醒めてまぼろし』

2009年、冬。清水あき子は自宅から自分の学力で通える最大限に近い都内の高校に通っている。常に睡眠不足のあき子は家では眠ることができず、昔一緒に住んでいたお婆あちゃんの家に行き、眠りにつく。相変わらず寝不足の電車内、あき子は吉田と出会う。

CAST
小野花梨 青木柚 遠山景織子 仁科貴
青柳尊哉 尾崎桃子

<2021年/30分/G/日本/配給：VIPO>



監督・脚本
木村緩菜
KIMURA Kanna

※6月3日(土) 休映

WEEK 02

6.2 FRI
→ 6.8 THU



『デブリーズ』

うだつ上がないCM監督・和田若手カメラマン・佐々木は、企業広告の撮影に来たスクラップ工場で、突如開いたワームホールに巻き込まれ、砂漠の異星に飛ばされてしまう。そこには、地球のゴミで作られた衣服・仮面を身に纏い、生活をする謎の民族がいた。

CAST
山根和馬 森優作 カトウシンスケ
石川浩司 ふせえり

<2023年/30分/G/日本/配給：VIPO>



監督・脚本
牧 大我
MAKI Taiga